



白い服と黒い服は、どちらがあたたまりやすいの

水に色をつけてもあたたまり方がちがう

わたしたちの生活で、ふつう、夏には白っぽい服を、冬には黒っぽい服を着ることが多くなります。それは、どうしてでしょうか。次のような実験をしてみましょう。

同じ大きさのガラスのコップに、同じ温度の水を同じ量ずつ入れ、それぞれに、白い絵の具と黒い絵の具をとかして、白い水と黒い水をつくります。

それを同じように日光が当たる所に、30分ぐらい置いておきました。すると、白い絵の具をとかしたコップの水よりも、黒い絵の具をとかしたコップの水のほうが、温度が高くなりました。

そのわけは、白い絵の具をとかした水は、日光をよくはね返してしまうので、あまりあたたまりません。しかし、黒い絵の具をとかした水は、日光をよく吸収するので、よくあたたまります。

白っぽい服は日光をはね返す

白い絵の具をとかした水で、実験したように、白っぽい色は、日光をよくはね返すので、白っぽい服は、気温の高い夏に適しています。反対に、黒っぽい色は日光をよく吸収するので、黒っぽい服は、気温の低い冬に適しています。

白い服は日光をよくはね返し、黒い服は日光をはね返さないで、日光をよく吸収するので、黒い服のほうがあたたまりやすいのです。（監修・小川 格）

